



湾岸・アラビア半島地域ニュース

オマーン：石油ガス事情（オマーン・イラン二国間会合）（9月1日付現地各紙）

1 日付現地紙は、イランのノザリ石油相の当地訪問及びオマーンとイランの石油・ガス分野における二国間会合について報じている。

1.8月31日夜、オマーン・オイル・カンパニー（OOC）において、オマーン側から、OOC会長であるマクブール商工相及び同副会長であるルムヒ石油ガス相が参加し、イラン側から、現地訪問中のノザリ石油相が参加して、石油・ガス分野におけるオマーン・イラン二国間会合が催された。

2.同分野における二国間協力及びイランのガスのオマーンへの輸入に関して協議が行われた。同会合において、双方は、今後の協力を実現するための様々な事項について最終的な確認を行うため、合同技術委員会を招集することで合意した。

3.オマーン側から、マクブール商工相兼 OOC 会長は、オマーンとイランは特別な関係を有しており、二国間関係は発展しつつあり、今後の更なる発展を期待すると述べた。またこれまでに、オマーン・イラン合同委員会は頻繁に会合を開き、二国間協力を強化するための多くの事項について協議を重ねており、同委員会の次回の会合は本年中にイランで開催される予定であるとした。またルムヒ石油ガス相兼 OOC 副会長も、オマーンはイランとの二国間協力の発展を強く希望していると述べた。

4.イラン側から、ノザリ石油相は、様々な機会を捉え、二国間協力を更に強化するために、共同事業体を設立するべきであると述べるとともに、イラン大統領のオマーン訪問は、イランがオマーンとの関係、特に経済分野における関係を発展させたいという強い意志の現れであると指摘した。また、イランは OPEC で 2 番目の石油輸出量を有し、天然ガスについても、200 年分の埋蔵量を有していると述べた。